

擊劍試合

由新瀉は冬長く雪深くして、舎内の遊技最も發達すべき機會を有す。それかあらぬか、擊劍に於ては雄名夙に天下に鳴り、去年京都武徳會にて、催せる晴れの場所に於ても新瀉縣學生二拾有餘名出場者中唯一名を除いて、皆勝利者たり。餘威彌が上に盛なる折しも懸軍長驅、我核の健兒三名竹刀を負ひ、新瀉縣高田中學校まで試合せんとて、武者修行に予出掛けたりける。

時維明治三十四年十月十三日生憎や朝來の時期に似もやらす、微雨蕭々として至り、到底庭内に催し得べくもあらざれば、陰鬱影暗き雨天体操場にて舉行するのあとと定めぬ、一番又一番、竹刀の飛ぶは電光の如く、掛聲は虎の哮ゆるが如し。長野方の旗色は亂れ立ちて予見にける、負けての後の繰言と笑はるゝも口惜ければ今更審判及組合せの公不公に就て兎や角、批評か間敷ことを筆にするにあらねども、縣下はいざ知らず。他縣へ試合に出掛ける際には、此二点に就て、己が利益を正當に自衛する丈に有力なる代表者を參列せしめざることを危険をは、今回の行、明かに我念頭に印せしめたるを奈何せん。小林安衛氏は足を病んで行くこと能はず、小山茂氏之に代りて高〇綿貫氏に對す。沈勇善く戦ふ、嗟々我をして一言を審判に挟むを得せしめしからばよ、軍扇は遂に綿貫氏に予揚りける。次に長中對高中一番了りて瀧澤好氏對新師島崎豐氏、續て瀧崎保氏對高中布施貫三氏最後に長中關谷吾一氏對新師丸山雄吉氏を以て終局を告げ、三番共に新瀉方の勝利と註されたり。前夜之を旅寓の主人に聞く、縣下、驍名の

最も噴々たる者を島崎布施兩氏をなす。之を戦うて斃る、亦多少の慰籍あるを覺ゆ。敗餘の某余に言て曰ふ爲すべき者は、旅こ有りける、此行勝負に失ふとも經驗に得たる所、之を償うて餘ありと。臥薪嘗膽の苦を積んで會稽山の耻いつかは雪ぎなん。由來眠れる獅兒の姿を負へる中信の健兒自重自愛せよ。(牛年生)

擊劍試合

十月三十一日午前九時擊劍競技會を雨天体操場に開之布施先生審判の勞を執らる演技者六拾八名之を東西二軍に分ち先三本勝負を行ひ了て勝者敗者に分ち各別毎に左翼より一本勝負五人拔を行ふ敗者此列に於て此名譽を獲たる者は、一年丁の猿谷貞三氏一名勝者の列に於ては一年乙箕輪浩氏及四年乙小山茂氏二名とす四年甲瀧崎保氏對五年瀧澤好氏は三本勝負の際引分にて勝負なく最優者として右の三名と共に銀賞牌を受けたり最後に拾四名を源平二隊に分ち土器破を行ふ合圖の一聲と共に兩軍呐喊肉薄入り亂て戦ふ暫時にして源氏方の勝に決し了て布施先生より三本勝負の勝利者に賞品の授與あり次に茶菓の小會ありて午后零時四十分散會す(牛年生)

野球科

櫻井彌一郎君 庭球科 尾崎光之助君
擊劍科 瀧澤好君 弓術科 秋山貞三君
諸氏は昨年天長節以後一ケ年間運動部各科に於て第一の成績あり功勞ある者と認定せられ金牌及會長の指定寄附にかゝる枕時計一個づゝを授與せられたり、かえて曉曉たる集會喇叭は高々響き渡り一同は場内に整列し會長の先唱にて 天皇陛下

皇后陛下皇太子殿下同妃殿下の萬歳を唱へ次に上田中學校友會の萬歳を絶叫して解散せしは午後四時頃なりき當日來賓の重あるものは小縣郡長上田町長裁判署長以下稅務署員警察署員郵便局員各學校長職員等百餘名觀衆も亦万に近く實に未曾有の盛會なりき

雜報

校友會役員氏名

- 會長 宮本右次
- 副會長 山口澤之助
- 講話部幹事 濱村善吉 雨宮新一 臼井勝三
- 藤澤直枝 長田三雄 坪田元福 溝木峰丸
- 森吉太郎 山内俊雄 田中常憲 宮澤義喜
- 石坂貞治 武井正次郎 常井久太郎 大隅三雄吉
- 全委員 高橋信美 山浦助八 瀧澤昌雄
- 伊澤幹 松井鳳平 市村一 横森賢次郎
- 工藤敦平 倉澤寛 濱村七郎 尾崎三郎
- 柳澤友太郎 沖島哲 隱岐清 山本亮助
- 運動部
- 野球科幹事 宮澤義喜 石坂貞治 小林縁
- 小田暢 西岡音楠
- 全委員 竹内精一 武田愈三 堀内右内
- 清水次作 荻原嘉一郎 山極信策 色部勉
- 山浦長吉 富岡壽男 小山七之助 増田知治雄
- 濱村孝平 横關衛二 畔上昇平 井出清人
- 庭球科幹事 臼井勝三 雨宮新七 山内俊雄
- 田中常憲 武井正次郎
- 全委員 田中爲藏 宮原三郎 瀧澤潔

小野澤新一	金井章次	米澤重衛武	川村三郎
石川等	瀧澤次郎	山浦勘一	小林碧
飯島寬一郎	仲島哲	井出欣一	浦水誠
擊劍科幹事	濱村善吉	坪田元福	溝木峯丸
大隅三雄吉	林鐵藏	大角浦助	富山朔
全委員 瀧澤保	小山茂	金子万壽	佐藤貞六
河村信治	小山佐東	猿谷貞三	荒木綱男
桂清男	都筑貞吉	南川久太郎	
曲尾規短夫	藤澤直枝	宮下新五郎	和田儂吉
弓術科幹事	小松今新太郎		
小熊德造	名取新一	市川信夫	隱岐太郎
全委員	山浦修公	小島直一	宮入傳次郎
臼田倭一郎	山茂志三	池田傳之助	水上邦賢
山浦修公	山口孝一	兒玉君雄	廣田政之進
小林賢二	濱村善吉	長田三雄	森吉太郎
雜誌部幹事	山內俊雄	宮澤義喜	武井正次郎
山內俊雄	常井久太郎	大隅三雄吉	田口信太郎
全委員	村松今朝太郎		
馬場直	井澤修	池田宗弼	隱岐太郎
瀧澤治平	森貞輔	豬飼國道	宮澤佳治
宮島善一郎	遠山健吾	池田傳之助	宇野通夫
庶務會計部幹事	森渥水	三井馨	吉池今朝儀
齋藤乙三郎	山林綠	小田暢	西岡音楠
全委員	宮島藤三郎	中村四郎	
宮原虎	伊藤源平	柳澤雅休	沓掛正次
宮川孫一	木村武	吉澤廣	森泉秀雄
堀内直	小山茂志三	大森滿	小宮山金次郎
	森渥水	兒玉君雄	市川信真